

# 香川大発の企業 京大系が出資

## 妊婦の遠隔健診機器 将来性評価

京都大学イノベーション・シミュレーションセンター（京都iCAP、京都市）は30日、香川大発のスタートアップ企業で、妊婦の遠隔健診関連のメロディ・インターナショナル（高松市）に1億5千万円を出資したと発表した。京都大発の研究成果を生かしたスタートアップ以外に京都iCAPが投資するのは初めて。

モニターリングに使う小型の通信機器を開発、発売している。京都iCAPは30日、メロディ社の第三者割当増資を引き受けた。

メロディ社は、遠隔での胎児

新型コロナウイルスの感染が拡大し妊婦の感染対策が重視されるなか、安全な出産につながる事業として将来性を評価し投資を決めた。資金は研究開発や海外展開に充てるといふ。